

指定管理者モニタリング結果報告書（令和 7 年度分）

- ・ 施設名 ： 綾歌健康づくりふれあいセンター
- ・ 施設所管部課： 健康福祉部高齢者支援課
- ・ 指定管理者 ： 太平ビルサービス株式会社 高松支店

区 分		内 容			
実施時期		(定期) 毎翌月末までに実施 (随時) 上記以外、必要に応じ実施			
実施方法		(定期) 業務報告書を翌月に受け取り、必要のある場合は内容確認・聞き取り並びに現地調査を実施 (臨時) 業務報告書を基に必要な場合は現地調査を実施 事業報告・決算報告提出後、聞き取り			
実施結果	① 施設の状況	リスク分担表に基づき、施設・設備の維持補修を実施した。指定管理者による修繕対応に加え、市において浴室天井改修、真空ヒーター修繕、ボイラー取替工事を行い、施設機能の維持確保に努めた。老朽化が進む施設については、優先順位を定め計画的な修繕に努めている。			
	② 施設の利用状況		令和 6 年度	令和 7 年度	前年比
		施設利用者数	64,557 人	54,107 人	83.8%
		利用料収入	15,896,430 円	13,460,430 円	84.7%
		サービス利用者数	455 人	458 人	100.7%
	利用者数、利用料収入はボイラー取替工事により R8 年 1 月から休館したため、昨年度に比べ減少した。サービス事業は、休止することなく継続し、前年度と概ね同水準を維持している。				
	③施設利用者の意向把握と対応	意見箱の設置や利用者との日常的な対話を通じて、利用者ニーズの把握に努めている。利用者のマナー等に関する苦情については、状況に応じて掲示物などによる注意喚起を行っている。また、施設備品に関する要望については、必要に応じて補充する等可能な限り対応している。			
	③ 管理体制	マナー研修及びコンプライアンス研修を実施し、職員の資質向上に取り組んでいる。また、安全衛生大会への参加を通じて、安全意識の向上を図っている。支店担当者による定期的な巡回を行い、本社・支店と現場が連携した管理体制の構築や、OJT を活用した人材育成にも取り組み、業務水準の維持及び職員の定着促進に努めている。			
	④ 管理経費	令和 7 年度は、ボイラー取替工事に伴う休館の影響により利用料収入が減少した。また物価及び光熱水費の高騰に伴い経費負担が増加したものの、設備稼働時間の見直し等の経費節減に取り組み、概ね事業計画の範囲内で適切な施設運営が行われている。			
⑤ 緊急時の対応について	台風等の自然災害に備え、対応マニュアルや緊急連絡体制を整備している。また、避難訓練を含んだ総合訓練を実施し、緊急時に備えている。				
⑦その他 (指定管理者の業務遂行能力等)	指定管理業務は概ね適正に遂行されており、施設運営上の重大な問題は認められない。業務遂行能力についても良好であり、継続的かつ安定的な施設運営が確保されている。				
⑧改善指示事項	高齢者の安全について更に配慮し、施設の不具合発生時には早めに対処し、必要があれば市の指示を得ること。				
実施結果に対する所管課の意見		設備の老朽化に伴う施設維持管理の負担が増している中、指定管理者はこれまでの実績分析に基づき、経費削減と効率的な施設運営に取り組んでいる。利用者サービスの水準を維持しながら安定的な施設運営が図られており、指定管理業務は適切に行われていると評価できる。			
今後の施設管理に反映(改善)する事項		施設及び設備の老朽化が進行しているため、優先順位を定めた計画的な修繕を実施していく必要がある。令和 7 年度に実施した健全度調査の結果を踏まえ、施設の今後のあり方について関係各所と協議を進める。			

